

地域がん診療病院の新規指定について

1 地域がん診療病院の新規指定について

- 国は、がん診療連携拠点病院の診療体制の向上や、がん診療の更なる均てん化等を図るため、平成 26 年 1 月に「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」（新指針）を策定している。
- その中で、地域がん診療連携拠点病院が未整備の医療圏において、医療従事者や設備整備に関する指定要件を緩和し、緩和ケアや相談支援などの基本的ながん診療の体制を整備している病院を「地域がん診療病院」として指定する制度を設けた。
- 今般、地域がん診療連携拠点病院が未整備の鹿行保健医療圏に所在する「医療法人社団善仁会小山記念病院」から、地域がん診療病院の新規指定の希望があり、県としては、当該病院を地域がん診療病院として推薦し、がん診療連携拠点病院との連携により、質の高いがん診療が受けられる体制の整備を進めたいと考えている。

2 本県のがん医療体制について

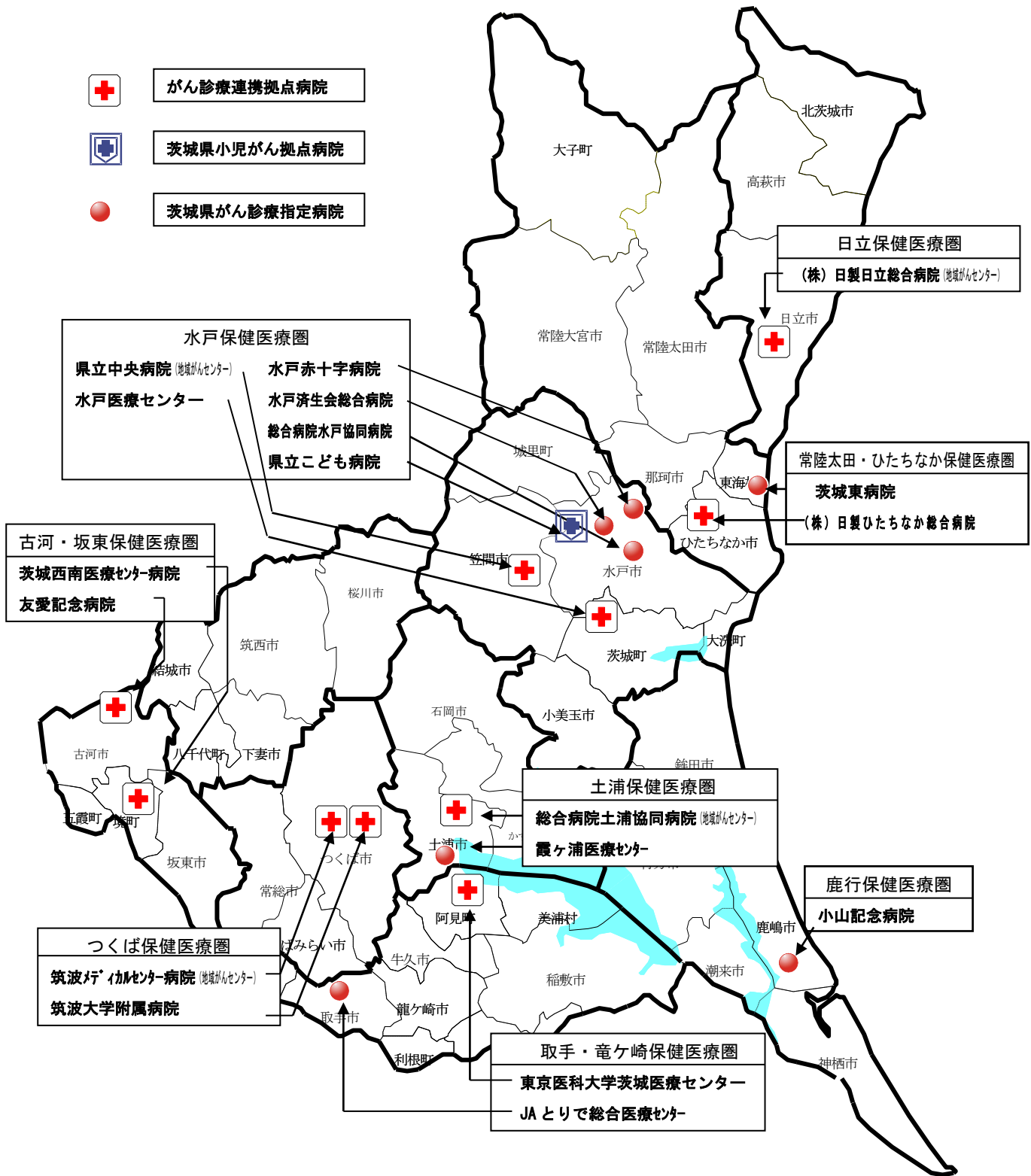
- 本県では、都道府県の中心ながん医療の役割を担う「都道府県がん診療連携拠点病院」として県立中央病院が、二次保健医療圏におけるがん医療の中心な役割を担う「地域がん診療連携拠点病院」として、9 保健医療圏のうち、7 保健医療圏の 9 病院が、国の指定を受けている。
- 地域がん診療連携拠点病院の指定要件を満たす病院がないため、拠点病院を整備することが困難な保健医療圏や、拠点病院と同等の診療機能を有する病院がある医療圏が存在するため、「茨城県がん診療指定病院」として 7 病院を県が指定している。

【参考】がん診療連携拠点病院・茨城県がん診療指定病院の指定状況

二次保健医療圏	がん診療連携拠点病院	茨城県がん診療指定病院
水戸	県立中央病院★ 国立病院機構水戸医療センター	水戸済生会総合病院, 水戸赤十字病院, 総合病院水戸協同病院
日立	(株)日立製作所日立総合病院	—
常陸太田・ひたちなか	(株)日立製作所ひたちなか総合病院	国立病院機構茨城東病院
鹿行	—	小山記念病院
土浦	総合病院土浦協同病院	国立病院機構霞ヶ浦医療センター
つくば	筑波大学附属病院 筑波メディカルセンター病院	—
取手・竜ヶ崎	東京医科大学茨城医療センター	JA とりで総合医療センター
筑西・下妻	—	—
古河・坂東	友愛記念病院 茨城西南医療センター病院	—

★都道府県がん診療連携拠点病院

茨城県のがん専門医療施設の整備状況



地域がん診療病院の主な指定要件と小山記念病院の取組状況

区 分	内 容	取組状況
1 診療体制 (1) 診療機能	・我が国に多いがんを中心に、集学的治療、標準的治療を提供（ <u>提供できないがんについては、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により対応</u> ）	茨城県立中央病院及び水戸医療センターと連携している
	・連携病院との合同カンファレンスの開催	○
	・連携病院との人材交流の実施	○
	・緩和ケアチームを整備し、適切な緩和ケアを提供	○
(2) 診療従事者	・手術療法に携わる医師を1人以上配置	○
	・化学療法に携わる常勤かつ専任の医師を1人以上配置	○
	・緩和ケアチームに身体症状、精神症状の緩和に携わる医師を1人以上配置	○
	・外来化学療法室の化学療法に携わる常勤の看護師を1人以上配置（がん化学療法看護認定看護師を配置）	○
	・外来化学療法室の化学療法に携わる薬剤師を1人以上配置（がん薬物療法認定薬剤師を配置）	○
	・専従の緩和ケアチームに携わる常勤の看護師を1人以上配置（緩和ケア認定看護師を配置）	○
	・細胞診断に係る業務に携わる者を配置（細胞検査士）	○
(3) 医療施設	・外来化学療法室を設置	○
	・病理診断室を設置	○
2 診療実績	・当該2次医療圏のがん患者を一定程度診療していることが望ましい。	国の計算式によると、43%をカバーしている
3 相談支援 情報提供 院内がん登録	・相談支援センターに国立がん研究センターの研修を修了した相談員を2名以上配置（相談基礎研修(1)～(3)を修了：1名、(1)、(2)を修了：1名）	○
	・国立がん研究センターの研修を修了した専従の院内がん登録の担当者を1名以上配置	○

※上記以外の全ての要件についても、国が定める指定基準を充足している。

<参考>今後のスケジュール

- 指定検討会（平成29年1月頃）
- 指定（平成29年4月1日）

茨城県のがん診療連携拠点病院の連携体制（平成29年4月1日以降）

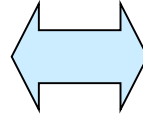
全県レベルの機能

多臓器にまたがる難治がん，進行・再発がん，我が国に多いがん（肺，胃，肝，大腸，乳）の治療に対応

特定機能病院

筑波大学附属病院

- ・がん診療連携拠点病院の医療従事者に対する高度ながん医療に関する研修を実施
- ・がん診療連携拠点病院への医師派遣
- ・全県の希少がん，小児がんに対応
- ・陽子線治療の実施



都道府県がん診療連携拠点病院

県立中央病院・茨城県地域がんセンター

- ・茨城県がん診療連携協議会の運営
- ・緩和ケア，各種研修に関する計画作成
- ・緩和ケアセンター整備
- ・PDCAサイクルの確保の中心的役割

連携
支援

2次医療圏レベルの機能

我が国に多いがん（肺，胃，肝，大腸，乳）を中心に治療を提供，5大がん以外に各病院が専門とするがんに対応，地域の医療従事者の研修会開催，相談支援センターを設置し，ピアサポート相談・就労支援窓口，患者サロンを開設

水戸医療圏

県立中央病院・茨城県地域がんセンター

- ・茨城県地域がんセンターとして高度ながん医療を提供
- ・肺がん，肝がん，膵がん等の進行・再発がん
- ・緩和ケア病棟（23床）
- ・IMRTの実施

水戸医療センター

- ・乳がん，食道がん，脳腫瘍，血液がん

鹿行医療圏

小山記念病院

- ・地域がん診療病院として，拠点病院と連携してがん医療を提供

日立医療圏

（株）日製日立総合病院

- ・茨城県地域がんセンターとして高度ながん医療を提供
- ・肝疾患診療連携拠点病院

常陸太田・ひたちなか医療圏

（株）日製ひたちなか総合病院

- ・5大がんのほか泌尿器系がんの実績
- ・IMRTの実施

土浦医療圏

総合病院土浦協同病院

- ・茨城県地域がんセンターとして高度ながん医療を提供
- ・緩和ケア病棟（20床）
- ・IMRTの実施

取手・竜ヶ崎医療圏

東京医科大学茨城医療センター

- ・がん医療に携わる医師の派遣
- ・肝疾患診療連携拠点病院
- ・IMRTの実施

つくば医療圏

筑波大学附属病院

- ・県内の医療従事者の人材育成
- ・IMRTの実施

筑波がんセンター病院

- ・茨城県地域がんセンターとして高度ながん医療を提供
- ・県内病院の緩和ケア体制の整備・普及に対し指導的な役割
- ・緩和ケア病棟（20床）

古河・坂東医療圏

友愛記念病院

- ・古河・坂東医療圏をカバー
- ・食道がん，血液がん
- ・緩和ケア病棟（14床）

茨城西南医療センター病院

- ・古河・坂東医療圏をカバー
- ・肺がん，脳腫瘍，泌尿器がん

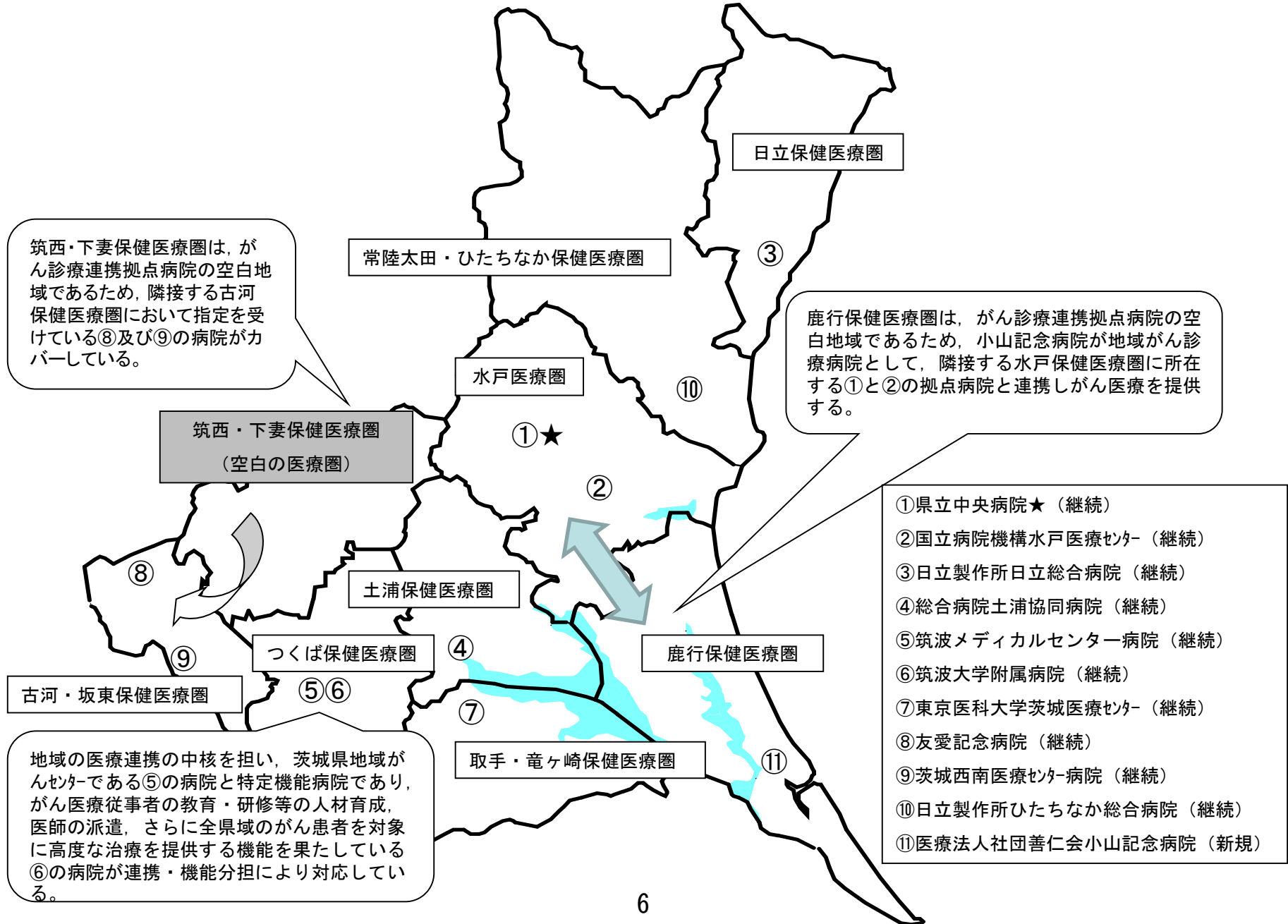
2病院でカバー

筑西・下妻医療圏

現在の指定状況と想定される患者受療動向



平成28年度の指定推薦状況と今後想定される患者受療動向



各委員からの地域がん診療病院の推薦にかかるご意見

医療法人社団善仁会小山記念病院の 地域がん診療病院新規指定推薦について	
意見あり	6名
意見なし	3名
<p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 念願です。賛成します。 ○ がん診療連携拠点病院のない鹿行地域に「県がん診療指定病院」である小山記念病院が「地域がん診療病院」として整備されることは地域住民にとっても大きなメリットがあり、申請に賛同します。 ○ 地域がん診療病院の要件として「必須要件」と「望ましい要件」がありますが、今後「望ましい要件」についても茨城県立中央病院などと連携して人材の配置を進めていただければと思います。特にがん治療では医師、看護師以外にも薬剤師の存在が大きく、今回小山記念病院の充足状況については薬剤師の点が記載されていないようですが、抗がん剤治療はリスクも比較的高いので選任薬剤師の配備が望まれます。 <ul style="list-style-type: none"> → がん化学療法に従事する者として、がん薬物療法認定薬剤師・外来がん治療認定薬剤師を1名配置している。 ○ 指定要件のうち、一部、重要なものの記載がないため、最終的に判断できない。全項目の評価は県に任されているので厳重なチェックが必要。 <ul style="list-style-type: none"> → 地域がん診療病院の指定要件にかかる項目について、書面審査及び現地調査を実施し、各項目について確認した。 ○ 今回は不要であるが、総務省の評価はいずれ反映されるので、現時点で評価しておくことが望ましい。 <ul style="list-style-type: none"> → 現地調査で総務省の評価項目の内容を説明し、今後実施状況を確認することとした。 ○ 賛同します。鹿行地域のがん医療について、今後も見守っていきたいと思います。 ○ 小山記念病院が地域がん診療病院になることに賛同します。 	